

# 死亡災害情報

No. 171

《建設業労働災害防止協会 宮城県支部》

(平成23年8月発行)

## 5～8月に死亡災害4件。8月には一人親方の災害も！

— うち、震災復旧関連が3件。復旧工事も十分な対策を！ —

☆ 宮城労働局が発表した8月10日現在の県内建設業における死亡災害概要は次のとおりです。

(ただし、災害速報発行済みのものは省略します)

平成23年 宮城県における死亡災害発生概要

宮城労働局

平成23年8月10日現在

番号	管轄署	発生日月日	事故の型	業種	性別	職種	災害の内容
		時間	起因物	規模	年齢	経験期間	
4	仙台	H23.5.30	墜落、転落	RC造建築工事事業	男性	現場主任	震災復旧工事の班長として作業場所の巡視中、津波によって蓋がずれていた開口部から、約6m下の地下ピットに墜落した。(推定)  (建災防注：鋼材製造工場構内で発生したもの)
		10時00分	開口部	95	57	39年	
5	石巻	H23.6.2	墜落、転落	木造家屋建築工事事業	男性	作業員	地震により被災したお寺の屋根瓦の葺き替え作業をしていたが、雨が降ってきたため片付けをしていたところ、屋根と足場の間から約5m下へ転落した。安全帯は使用していなかった。
		15時50分	屋根、はり、もや、けた、合掌	6	22	1ヶ月	
6	仙台	H23.6.6	飛来、落下	建築設備工事事業	男性	管理者	配管工事の準備のため、使用していない既設ダムウエーダーの昇降路内部の状況を目視確認するため、その障害となっていた搬器を一部解体しようとして当該昇降路内部に入り込み、搬器とカウンターウエイトをつなぐワイヤーロープを固定するロットを2本とも切断したところ、カウンターウエイト(推定62.5kg)が落下し被災者を直撃した。
		9時30分	エレベータ、リフト	80	54	19年	

☆ 建災防注：この3件中No.4と5は、復旧関連工事です。

☆ 上表のほか、8月には震災で被災した個人住宅の解体現場において、バックホーのバケットをグラップルなどと呼ばれているはさみ状アタッチメントに取り替えて作業中、このはさみでバケットをつかんで移動しようとしたときにバケットが滑り落ち、敷地際の塀のむこうにいた他の作業員に当たり、翌日死亡する災害が発生しています。(詳細は災害速報172を参照してください。)

☆ また、8月9日に、大崎市鳴子で個人住宅の屋根の塗り替え作業を3人でしていたとき、高圧洗浄機のノズルを持った一人が軒先から転落し、同時に、補助作業(ホース持ち)のため屋根の上にいる二人も引きずられて転落する事故が発生しました。この事故でノズルを持っていた人が死亡、他の二人は負傷する結果となりました。

監督署の見解では、死亡した方は一人親方で「労働災害」には計上されませんが、足場も安全帯もなくまったく無防備な状況で作業をしていたことは残念なことです。

☆ 上表の災害のうちNo.5の災害については、お寺の建物の屋根から転落することを防止する意味を兼ねて足場を設置したようですが、くさび式本足場の構造でありひさしの直下には歩板も設置していたものの、歩板からの高さが90cmと135cmの手すりがついていただけで中さんがいない状況となっていたようです。労働安全衛生規則による措置及び作業直前の点検を実施し、災害防止を図る必要があります。